

# 検査成績書

1/1

150708170-001-01

2015年7月27日

依頼者

                    O・R・P株式会社  殿

厚生労働大臣登録検査機関  
一般財団法人

食品分析開発センター **SUNATEC**  
三重県四日市市赤堀新町9番5号



検体名	1) orpウォーター酸性イナ水
特記事項	1)

2015年07月08日 弊財団にご依頼されました検体の検査成績は以下の通りです。

## 殺菌効果試験

[試験目的]

検体について殺菌効果試験を行う。

[試験概要]

(1) 試験菌

- Escherichia coli* NBRC 3972 (大腸菌)
- Staphylococcus aureus* subsp. *aureus* NBRC 13276 (黄色ブドウ球菌)
- Pseudomonas aeruginosa* NBRC 13275 (緑膿菌)

(2) 試験菌液の調製

普通寒天培地で前培養した試験菌の培養物を滅菌精製水に懸濁させ、1ml当たりの生菌数が約 $10^8$ となるように調製したものを試験菌液とした。

(3) 試料の調製

検体30mlに対して試験菌液を0.3mlそれぞれ添加したものを試料とした。

(4) 試験操作

試料を室温で30秒間保存後、その一部を採取し、試料の生菌数をSCDLP寒天培地を用いた混釈平板培養法(35±1、2日間培養)により測定した。  
なお、あらかじめ予備試験を行い、生菌数測定に影響を与えない測定条件を確認した。  
また、試験菌液の生菌数を測定し、保存開始時の生菌数に換算した。

[試験結果]

結果を表-1に示した。

以下余白

表-1 生菌数測定結果

試験菌	区分	開始時	30秒後
大腸菌	検体1)	$6.3 \times 10^6$	<10
黄色ブドウ球菌	検体1)	$4.1 \times 10^6$	<10
緑膿菌	検体1)	$7.0 \times 10^6$	<10

開始時：試験菌液の菌数を測定し、試料当たりの生菌数に換算した。  
<10：本試験方法において菌の生育が確認されなかったことを意味する。  
大腸菌：*Escherichia coli* NBRC 3972  
黄色ブドウ球菌：*Staphylococcus aureus subsp. aureus* NBRC 13276  
緑膿菌：*Pseudomonas aeruginosa* NBRC 13275